

備前市 事務事業 評価表

事務事業名	栄養委員会事業		コード	02-02-06-02
			担当課・係	保健課健康係
			担当者	丸上始企子
事業実施期間	S46年4月		電話	64-1820
総合計画 事業（政策）体系	大項目(基本目標)	健康でやさしさあふれるまちづくり		
	中項目(基本施策)	健やかで生き生きしたまちづくり		
	小項目(施策)	健康づくり		

事業について		
目的 (何のために)	栄養委員会の組織育成とレベルアップを図ることにより栄養改善につとめる	
対象 (誰・何を対象に)	栄養委員	
内容	栄養委員会および研修会を実施	

事業の結果			
実施項目	17年度	18年度	
	回数など (単位)	回数など (単位)	回数など (単位)
栄養委員会及び研修会	95回 1,614人	97回 1,824人	

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	2,317	間接補助金等	22	直接事業費	2,236	間接補助金等	22
	人件費	7,347	委託費負担		人件費	9,285	委託費負担	
	合計	9,664	一般財源等	9,642	合計	11,521	一般財源等	11,499

必要人員	1.12人	1.30人	
結果指標	委員会・研修会回数		
結果指標量	95	97	
単位	回	回	
対前年比	-	102.11%	0.00%
活動にかかるコスト	9,664,000円	11,521,000円	
単位当たりコスト	101,726円	118,773円	
結果指標	委員会・研修会参加人数		
結果指標量	1,614人	1,824人	
単位	人	人	
対前年比	-	113.01%	0.00%
活動にかかるコスト	9,664,000円	11,521,000円	
単位当たりコスト	5,988円	6,316円	

事業の成果			
どのような成果を得ようとしているか	栄養委員自身が健康推進のための知識、意識を向上、また実践し地域に普及啓発できること		
成果指標名	総会、栄養委員研修会参加率	式又は説明	総会、栄養委員研修会参加人数 / 栄養委員会委員数
	17年度	18年度	
成果指標量	75%	80.0%	
対前年比	-	106.67%	0.00%
到達目標値	85%	到達目標年度	平成20年度

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成18年度事業)	
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である 関係法令等： 備前市栄養委員会規則	妥当性評価<A~E> B 課題認識
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	備前市条例で目的が定められており妥当である。保健行政の推奨と地域住民の健康増進を図るため、栄養委員の活動を支援することは、行政として重要な役割である。また、健康増進、栄養改善を進める上で適切な情報を提供する必要がある。
	市民ニーズの妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input checked="" type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である	
市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である		
効率性の評価	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	妥当性評価<A~E> B 課題認識
	手段の最適化	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input checked="" type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input checked="" type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	地域の健康リーダーとして貢献するには、知識の向上、地区組織の強化につとめ自主性を育てる必要がある。栄養委員の研修会等とおし委員自身のスキルアップを目指しながら任期の2年間をとおして地域で栄養改善事業を実施する苦労や工夫を経験し、その上で地域の人々に奉仕する喜びや充実感、達成感を得た。地域にこのような経験者が輩出されることにより健康推進の意識の向上に努めながら、民間ボランティアへの移行も検討すべきである。
	職場の効率化	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT（職場研修）は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい	
目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	有効性評価<A~E> B 課題認識	
有効性の評価	成果向上の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	事業の計画には、栄養委員の自主性を尊重しながらも、その目的を明確にし効率のよい実施方法をもとめている。各域内での栄養改善事業の回数の増加、内容が充実されるに従い地区住民の参加数は増加している。
	市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input checked="" type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

平成19年度状況	<input type="checkbox"/> 重点化している <input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input type="checkbox"/> 見直し継続している <input type="checkbox"/> 事業を縮小している	<input type="checkbox"/> 休止している <input type="checkbox"/> 他の事業と統合している <input checked="" type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了	説明 事業計画は前年度の時間的な流れに従い進めているが、研修会等はより社会的ニーズにあった内容に強化している
目標値	結果指標量 100	結果指標量 1,850	
	成果指標量	85%	

総合評価	市町村合併より2年経過した。栄養委員にとっても合併時に選出され新しい試みに挑戦した2年間であった。模索しながら新システムでの事業、また新規事業に取り組んだが予想以上の成果を得た。地域では、栄養委員活動が再認識され栄養改善事業である親子料理教室、伝達講習会等とおし健康意識の推進に寄与することを望まれている。また、保育園、教育機関等からも地域の食育推進の担い手として認識され、園、校内での栄養改善活動を望まれている。	評価区分 <A~E> B
------	---	--------------

平成20年度以降の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了 <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する
--------------	---	---

平成20年度以降の改善事項	評価の視点 改善内容 改善時期 改善により期待される効果		
妥当性	市が関与すべき栄養改善事業であるが民間ボランティアへの委託事業として検討	平成24年	市民の健康推進意識の向上と食生活改善
効率性	各地区の栄養委員委嘱数の適正化	平成20年	栄養改善事業の普及啓発の増進、経費節減
有効性	市民のプラン作成参加	平成26年	市民の健康推進意識の向上と食生活改善